

平成3年

# 営繕のあゆみ'91



沖縄県土木建築部建築課

## ● 目 次

---

1. 目 次	1
2. あいさつ	2
3. 特集(沖縄県・県民の森)	3
4. 建築課	
総 務 部	12
生活福祉部	13
環境保健部	14
農林水産部	15
土木建築部	16
商工労働部	17
5. 都市計画課	18
6. 住宅課	19
7. 病院管理局	21
8. 教育庁	22
9. 参考資料	
過去5年の工事費及び工事件数推移	23
工事概要一覧	24
10. 沖縄県行政機構図	28
11. 編集後記	29
12. 編集スタッフ	30

# 沖縄県・県民の森

(総合案内棟・森林科学館・その他施設)

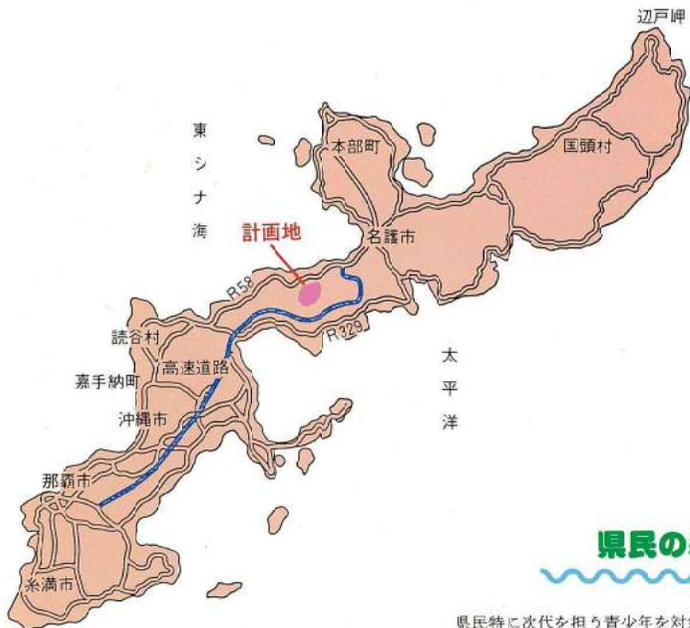
沖縄県民の森は、県都、那覇市から国道58号線を1時間ほど北上した恩納村の美しい東シナ海の海岸線を眺望できる斜面に位置している。恩納村の海岸は珊瑚礁が美しく、海岸の景観を利用したリゾートホテルが林立した地域でもある。沖縄本島のほぼ中心部にあり、那覇市、沖縄市、浦添市、名護市などの人口の集中した地域からのアクセスも易く、多くの県民に利用されている施設である。

今回の総合案内棟、森林科学館等の完成で施設の全容がほぼ整ったことになる。

## 県民の森 計画コンセプト

—— 自然との語らい ——

- 静かな森林の中で、のんびり散策・休息・団らんできる場所の提供
- 自然・森林に対する知識・体験が修得できる施設や場所と活動組織づくり
- 自然環境と組合わせた健康・体力づくりスポーツ活動の開発と施設づくり
- ドライブや風景鑑賞などで季節感を感じさせる森林の造成



## 県民の森とは

県民特に次代を担う青少年を対象に、森林との触れ合い、自然観察及び体系的なモデル展示や体験学習等を通して、森林・林業の役割と自然に対する科学的な知識を深め、人間生活と森林のより良い結びつきを考え、同時に、森林浴等による健康増進を図る森林レクリエーションの場を提供することを目的に恩納村有林181ヘクタールに開設されました。

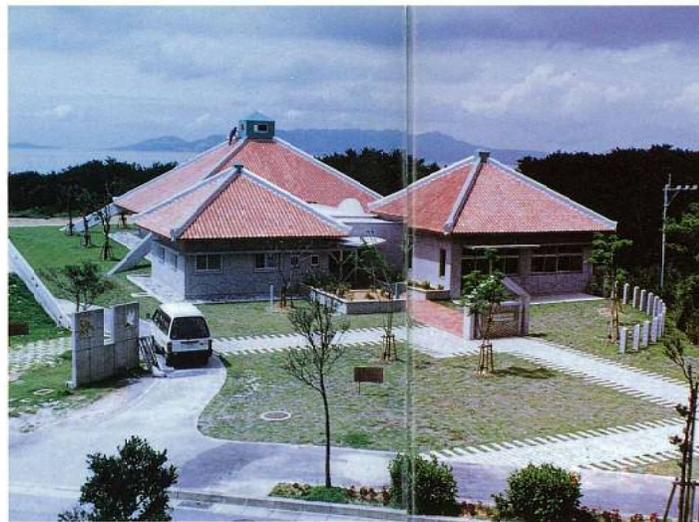


▲総合案内棟



## 県民の森・施設の概要

① 総合案内棟及び 屋外シェルター	鉄筋コンクリート造2F	延床面積 291M <sup>2</sup>
② 森林科学館	鉄筋コンクリート造1F	延床面積 450M <sup>2</sup>
③ 炊事棟	鉄筋コンクリート造1F	延床面積 50M <sup>2</sup>
④ 高架水槽+電気室1	鉄筋コンクリート造3F	延床面積 66M <sup>2</sup>
⑤ 用具貸出棟+トイレA	鉄筋コンクリート造1F	延床面積 117M <sup>2</sup>
⑥ 野外トイレB	鉄筋コンクリート造1F	延床面積 58M <sup>2</sup>
⑦ 野外トイレC	鉄筋コンクリート造1F	延床面積 41M <sup>2</sup>
⑧ 野外トイレD	鉄筋コンクリート造1F	延床面積 M <sup>2</sup>
⑨ 電気室2	鉄筋コンクリート造1F	延床面積 31M <sup>2</sup>
⑩ 受水槽(ポンプ室)	鉄筋コンクリート造2F	延床面積 27M <sup>2</sup>
⑪ その他(浄化槽、変電所、etc)		



▲森林科学館

▼総合案内棟より用具貸出室を見る



▲炊事棟



▲高架水槽



▲水飲場のシーサー

## 工事概要

- 施設名称：沖縄県・県民の森
- 所在地：沖縄県恩納村字安富住
- 工期：平成3年3月1日～平成4年3月28日
- 敷地面積：1,811M<sup>2</sup>
- 設計：(有)長谷部建築研究所・(有)三一設備設計 JV
- 工事費：総合案内棟及び③～⑩の施設 259,994千円  
森林科学館 135,779千円  
その他施設 160,314千円
- 施工：総合案内棟及び③～⑩の施設
  - ◎建築工事：(資)金世建設
  - ◎電気工事：阿波根電気・(有)末吉電気工事 JV
  - ◎機械工事：(有)共和工業

### 森林科学館

- ◎建築工事：(株)富建
- ◎電気工事：丸仲電気工事社
- ◎機械工事：名護電気センター

### その他施設

- ◎電気工事：中部電気工事(株)・  
沖縄オートメーション(株) JV
- ◎機械工事：(資)名建産業  
(株)饒波工務店

# 総合案内棟・屋外シェルター

総合案内棟はアプローチ部分に木をイメージしたシェルター（雨・陽射しを防ぐ傘）を設け、それに続いて林をイメージしたシェルター（木のシェルターに加えて休憩、集合等の機能を持たせた）を設けた。

この木と林をイメージしたシェルターを通り抜けていくと、森をイメージした総合案内棟に導かれる。

## 設計のコンセプト

### “自然との対話”

- ・光（太陽）
- ・空
- ・雨
- ・風
- ・木、林、森
- ・小さな野草
- ・野の花、山の花
- ・木の実
- ・小鳥
- ・小動物
- ・せせらぎ……etc

### “沖縄の形態、素材との対話”

- ・開放性
- ・骨太さ（野太さ）
- ・雨はじ
- ・高倉
- ・ヒンプン
- ・赤瓦
- ・野石積
- ・琉球トラパーチン
- ・琉球ガラス
- ・杉
- ・チャーギ（犬マキ）
- ・しっくい……etc

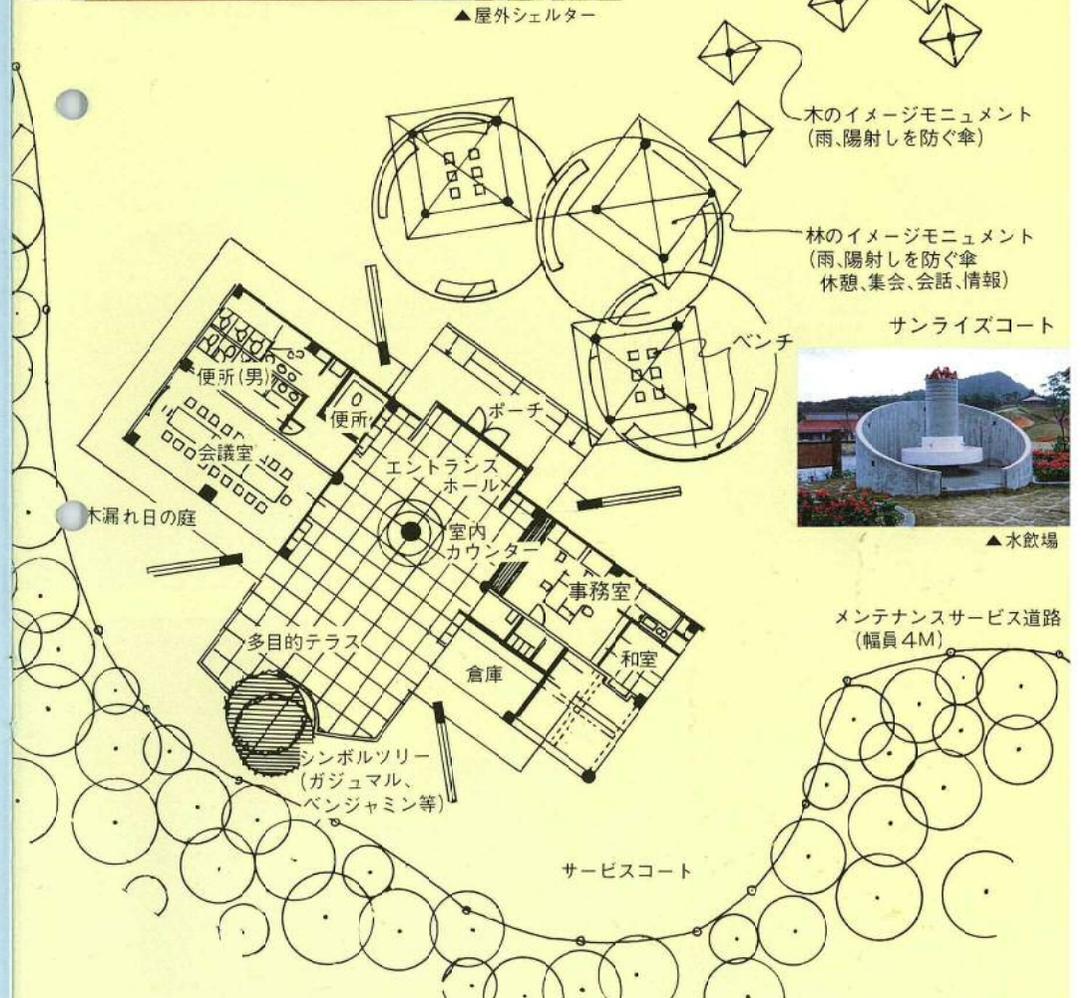
▼正面外観



▲屋外シェルター



▲内部階段



▲水飲場

# 森林科学館

森林科学館は、山の歴史を語る木工器具、運搬器具等を収集・展示し、先人の知恵と森林、林業が県民の生活に密接に結びつき、大きな役割を果たしていたことへの理解を深める場として設置された。

森林科学館は、沖縄の民家のイメージと沖縄の首のイメージを重ね合わせて3棟構成とした。

空間構成としては、「導入空間」、「意識空間」、「主空間」の3つに分けた。「導入空間」は文字どおり、入口、管理室等の空間とし、「意識空間」は意識を喚起させるための展示通路、「主空間」には展示室、木工工作室、ビデオシアターを配置し、それぞれの空間を位置づけた。なお、木工工作室は内容が異なるため別棟とした。

▼正面外観

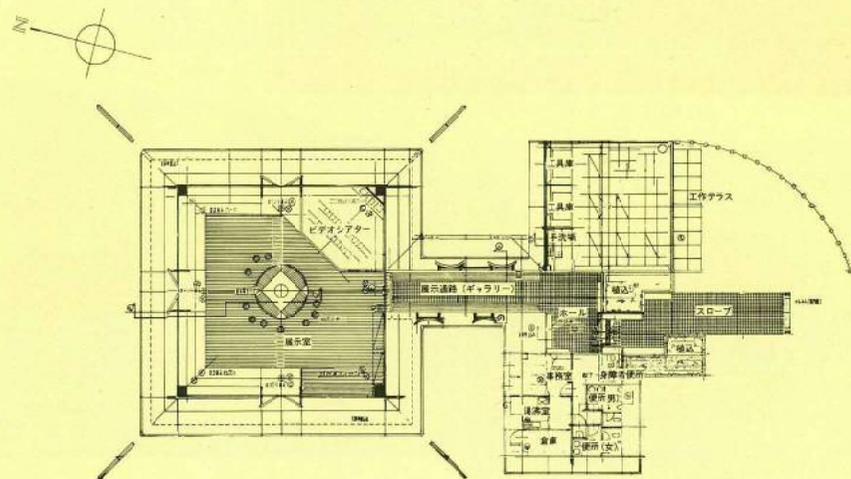


▲電気室側外観

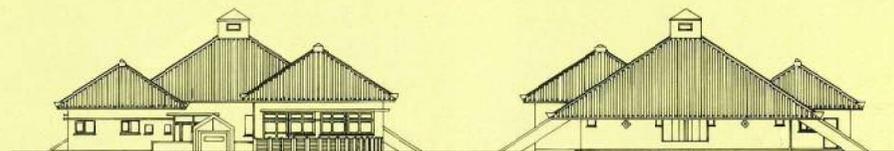
9



▲雨はじ



平面図



両立面図

北立面図



東立面図



西立面図



▲展示通路

10



▲展示室